

## 気象庁長官表彰を受けました！



6月2日、五所川原地区消防事務組合市浦消防署が、長年にわたる観測所の維持・管理の委託業務に従事したことにより、気象庁長官表彰を受けました。

この表彰は、長年にわたり気象業務の発展・遂行に寄与した個人・団体に贈られるもので、東北地区では、市浦消防署を含め3団体が表彰されました。

伝達式は、市浦消防署内で行なわれ、青森地方気象台の永沼台長が「長年の業務に深く感謝し、またこれからも継続して業務に従事してください」と述べ、阿部市浦消防署長へ感謝状を手渡しました。

6月1日は、東京気象台が業務を開始した日にあたるため、毎年この日を「気象記念日」としています。

市浦消防署敷地内にある観測所は、昭和51年11月18日より観測を開始し、現在に至るまで市浦地区の気象データ収集および防災等に活用されています。

今後も市民が安心して生活できるように観測を継続していきます。

## 五所川原地区更生保護サポートセンター開設



5月20日、市民学習情報センター内にて五所川原地区の保護司の活動拠点となる五所川原地区更生保護サポートセンターの開所式が行なわれました。関係者約30人が出席する中、富田光子会長より「開所でできてほっとしている。皆で力を合わせ頑張っていきたい」とあいさつがありました。

県内では7カ所目の設置で、保護観察対象者との面談、犯罪や非行に関する地域住民等の相談への対応、また保護司間の情報交換、関係機関との連携の場として活用されます。

相談の受付は、毎週火・木・金曜日の13:00～15:00までとなっております。

## 全国道場少年剣道大会出場



7月27日に東京都日本武道館で行われる、第51回全国道場少年剣道大会団体戦に出場する五所川原剣道協会（五所川原第一中学校）の選手の皆さんが、6月13日、市長を訪問しました。

同大会の団体戦のほか、10月9日に広島市で行われる、全国大会個人戦にも出場する大将の草木さんは「青森県の代表として、全国の強豪校のトップを目指したい」と大会への意気込みを話しました。

## 奥津軽虫と火まつり親善大使



6月18日に開催された「奥津軽虫と火まつり（五所川原青年会議所主催：今一憲理事長）」をよりPRし、次世代に継承していくことを目的に任命された親善大使の皆さんが6月6日市長を訪問しました。

親善大使に任命された学生の皆さんは、まつりPRの他、小学生への紙芝居の読み聞かせやたいまつ制作体験、まつりへの運営スタッフとしての参加など、活動紹介を行いました。

## 車座ふるさとトークが開催されました



5月23日、市民学習情報センターで、車座ふるさとトークが開催され、古賀篤総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官を囲み、12名の市民が「マイナンバー制度と地域社会」をテーマに意見交換を行いました。

マイナンバー制度への質問や期待といった参加者の声に対し、政務官からの丁寧な説明があり、マイナンバー制度への理解を深めることができました。